

NHK オンライン

障害者の仕事につなげる加工場

神奈川県平塚市に地元の農作物を無駄なく使い、障害者の仕事や生きがいにもつなげようという加工場ができ、関係者が開所を祝いました。

この加工場は、平塚市の社会福祉法人が国の交付金を活用して障害者が働く施設に新たに設け、5日は、市や県、それにJAの関係者などおよそ50人が開所を祝いました。

市内で生産されるトマトやにんじん、それにブルーベリーなどのうち、ふぞろいなものなどを障害のある人たちにジュースやジャムなどに加工してもらい、来月から、市内のJAの直売店などで販売することにしています。

農作物をむだなく使い、障害者の仕事や生きがいにつなげようという取り組みで、5日は8人の障害者が職員とつぶしたトマトを瓶に詰めるなどジュース作りの作業をしていました。

加工場で働く男性は、「売り上げのよい加工場にしたいです」と話していました。インターネットでの販売も計画しているということで、加工場の瀬戸利彦所長は、「県内をはじめ全国に届けていきたい。販路を拡大し、障害者の就労支援につなげたい」と話していました。

2014年 6月 5日 17時 31分